

Topic 3
幼年防火クラブ員のポスターが
防火を呼びかけ



令和7年幼年消防クラブ防火ポスター展において、山口心暖さん（ふじ幼年消防クラブ）、大森日稀さん（ふじ幼年消防クラブ（第2ふじ））、竹内京汰朗さん（立神海の風幼年消防クラブ）、今釜律花さん（妙見幼年消防クラブ）の4名の作品が金賞に選ばれ、防火広報に貢献しました。

Topic 4
こどもカツオマイスター検定
を開催



2月22日、南薩地域地場産業振興センター等で、第12回枕崎こどもカツオマイスター検定が開催され、市内の小学5年生29名が挑戦しました。

参加した子どもたちは、実技試験としてカツオの水揚げの様子や冷凍保管庫、カツオさばき見学を行ったほか、わら焼きタタキや茶節づくり、かつお節削り体験など、枕崎ならではの体験に、真剣に取り組んでいました。

Topic 5
高校生のための合同企業
説明会を開催



2月27日、総合体育館において、市内高校生に地元どんな企業があるか知ってもらい、将来の地元への就職促進へ繋げることを目的とした合同企業説明会が開催されました。市内に事業所を持つ21企業の協力のもと、枕崎高校および鹿児島水産高校食品工学科・海洋科栽培工学コースの2年生が参加し、各企業の説明を真剣に聞いていました。

市内に事業所を持つ21企業の協力のもと、枕崎高校および鹿児島水産高校食品工学科・海洋科栽培工学コースの2年生が参加し、各企業の説明を真剣に聞いていました。

Topic 1
松山太郎さんと栄村道博さんに
法務大臣表彰



長年、保護司として活動してきた松山太郎さんと栄村道博さんに法務大臣表彰が授与されました。また、長年にわたり更生保護の活動を理解し、夫を支えたとして松山さんの妻純子さんと栄村さんの妻ちえ子さんに、鹿児島県保護司会連合会会長表彰が贈られました。松山さんは、平成15年11月に、栄村さんは平成21年2月に保護司になって以来、罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力してきました。

松山さんは「近所の面識のある方の担当になることもあり、再犯を無くそうと自分を奮い立たせて頑張ってきました。妻にもアドバイスや活動を支えてもらったことに感謝しています」と話しました。

栄村さんは「微力ながら、更生保護活動に携われたことは、自分にも勉強になることも多く、いい経験だったと思っています。支えてくれた家族にも感謝を伝えたいです」と話しました。

Topic 2
九州移住ドラフト会議クライマックス
シリーズでMakurazaki縁ジェルスが優勝



2月22日、「九州移住ドラフト会議」の取り組みを発表するクライマックスシリーズが長崎県で開催され、Makurazaki縁ジェルスが初優勝を果たしました。

九州移住ドラフト会議とは、九州が好きな人や移住希望者を「選手」、移住者を受け入れたい地域を「球団」に見立ててマッチングし、人と地域の関わりを生み出すイベントです。縁ジェルスは、11月に鹿児島市で開催された指名会議で3人の選手を指名。選手それぞれが謎解きや動画制作などを行うことで枕崎の魅力を発信し、その取り組みが高く評価されて優勝となりました。

枕崎市の国民健康保険～これまでとこれから～

枕崎市の国保



本市の国民健康保険について、4回連続の特集を掲載します。

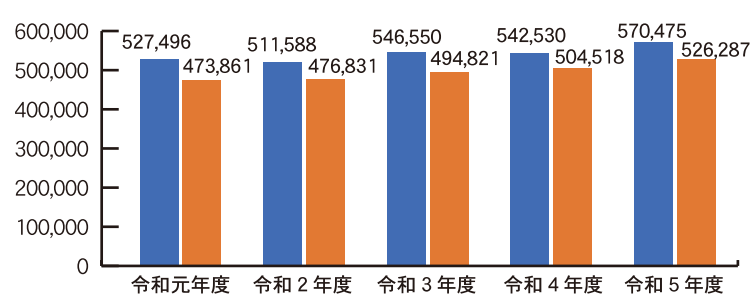
第2回目は、1人当たりの医療費、中でも特定健診受診の有無と生活習慣病患者1人当たりの医療費の相関関係、それらに起因する国民健康保険特別会計の法定外繰入金（一般会計からの補填＝財源不足）等について説明します。

3月号で、財政状況と保険料の決定方法について説明しましたが、国保財政の歳出の中で多くの割合を占めるのが、保険給付費（医療費）で、医療技術の進歩、被保険者の高齢化に伴い1人当たりの保険給付費は増加傾向にあります。令和5年度の1人当たりの医療費は570,475円（19市中4番目に高い）、令和4年度の1人当たりの医療費は542,530円（19市中5番目）となっており、過去10年間で19市中3位から5位

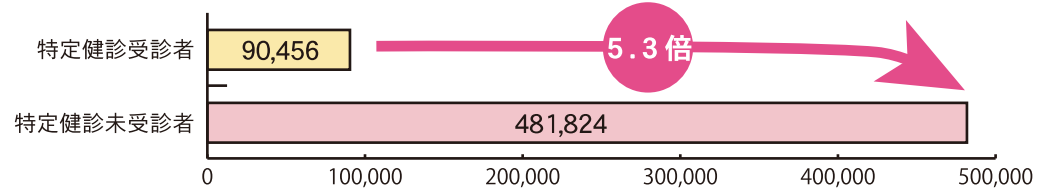
を推移しています。

この保険給付費は県から保険給付費等交付金として交付されますが、市町村はその保険給付費に対する事業費納付金を納める必要があり、事業費納付金は医療費が高いと後年度納める額が増える制度にもなっています。

1人当たりの医療費の推移（単位：円／年） ■ 本市 ■ 19市平均



令和5年度 生活習慣病患者1人当たりの医療費（単位：円／年）



上のグラフは令和5年度の本市国民健康保険被保険者の生活習慣病患者1人当たりの医療費を特定健診受診者と、未受診者と比較したものです。未受診者は受診者に比べて約5.3倍の医療費がかかっていることが分かります。未受診者の中には定期的に病院にかかっているため特定健診を受診しない方がいることもわかっておりますが、健診受診者の医療費が低いというのも事実です。そのため、本市は受診率60%を目標に、特定健診受診率向上対策として、未受診者に対する受診勧奨通知、夜間や土日健診日の設定、がん検診との同日開催等に取り組んでいますが受診率は40%程度となっています。

今後も病気の早期発見、早期治療につなげるため、特定健診の受診率向上に取り組めます。被保険者の健康管理や、将来的な枕崎市国保の安定化のため、年1回特定健診を受けましょう。

令和元年度以降の法定外繰入金の推移（単位：円）

項目名	元年度 決算額	2年度 決算額	3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 最終予算額	7年度 当初予算額
法定外繰入金	65,000,000	130,000,000	60,000,000	10,000,000	40,000,000	102,307,000	56,071,000
うち単年度財源不足分	53,690,924	119,090,591	40,811,688	1,878,214	35,424,180	102,307,000	56,071,000
うち翌年度繰越となった分	11,309,076	10,909,409	19,188,312	8,121,786	4,575,820	—	—

上の表は、法定外繰入金の令和元年度から5年度までの決算額と令和6年度最終予算額及び令和7年度当初予算額です。令和元年度から5年度までの法定外繰入金決算額合計は3億500万円となっています。平成30年度の制度改正時に6,000万円不足額が生じておりましたが、負担の激変を配慮し、2分の1相当の税率引上げとしました。令和5年度までに残りの3,000万円分不足額解消を目指すことを説明していましたが、コロナ禍やその後の物価高騰により税率改定を見送ってきたところです。令和7年度はその3,000万円分について税率改定を行いました。

5月号では税率改定について掲載します。

■問合せ 健康・子ども課保険医療係 TEL76-1127